

【登録締切延長】 第三回 scChemRISC 研究会

幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム第三回 scChemRISC 研究会の事前参加登録締切ですが、参加枠にまだ余裕がありますので、【9月24日（金）】まで延長いたしました。皆様奮ってご参加ください。

第三回 scChemRISC 研究会

「安全性評価におけるトランスクリプトームの現状と可能性」

日程：2021年10月12日（火）10:00-17:00（予定）

形式：オンライン開催

主催：幹細胞を用いた化学物質リスク情報共有化コンソーシアム

世話人：上月裕一（株式会社資生堂）

詳細、参加登録はこちら：

<https://scchemrisc2021kenkyukai.stemcellinformatics.org>

プログラム（予定）：

1. 特別講演

「トランスクリプトームデータを活用した Computational Toxicology Tool の開発」

山田 弘（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

「Integrating biological profiling using transcriptomic data into the NAMs for systemic toxicity evaluation」

Anne Riu（L'Oréal Research & Innovation）

2. 研究発表

「トランスクリプトームデータからの毒性発現メカニズム推定と安全性評価」

夏目 やよい（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所）

「トランスクリプトームプロファイルデータに基づく化学物質の複合的作用の数値化」

水野 忠快（東京大学大学院薬学系研究科・薬学部 分子薬物動態学）

3. コンソーシアム現状と課題

「ヒト iPS 細胞を用いた安全性評価系構築に向けた検討 - ヒト ES 細胞からのブリッジング -」

久木 友花（株式会社資生堂）

「ヒト ES 及び iPS 細胞を用いた腎毒性予測評価系の検討」

大槻 博礼（協和キリン株式会社）

4. コンソーシアム今後と可能性

「ヒト ES・iPS 細胞を用いた化学物質毒性予測系の成人毒への適用」

山根 順子（京都大学 iPS 細胞研究所）

「ガイドライン化にむけた動き」

小島 肇（国立医薬品食品衛生研究所）

参画企業からの報告

株式会社資生堂

サントリー-MONOZUKURI エキスパート株式会社

協和キリン株式会社

日産化学株式会社

住友化学株式会社

参加費：

会員 7,000 円（9 月 25 日以降：8,000 円）

一般 10,000 円（9 月 25 日以降：11,000 円）

学生 無料（学生証提示）

事前参加登録締切日：2021 年 9 月 24 日（金）まで延長

scChemRISC 事務局（小幡・笹田）

京都大学 iPS 細胞研究所 藤淵研究室内

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 53

scchemrisc@cira.kyoto-u.ac.jp